平成30年度日本語指導実践事例④

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 小学校２年生 | 母語 | アラビア語 | DLAステージ |
| 日本語の状況 | ひらがな・カタカナの五十音は昨年度学習しているが、カタカナは定着していない。日常でよく使っている語彙をつないで話したり、書いたりすることができる。音読は、ゆっくりであるが、正確である。ただし、内容を理解することは難しい。自分から書きたいことを見つけて、文章にすることが難しい。 | 語彙力 | 20％ |
| <話す> |  |
| <読む> |  |
| <書く> |  |
| <聴く> |  |
| 指導目標 | 日常のコミュニケーションや、教科の学習活動に積極的に参加するために必要な語彙や表現力を獲得する。 |
| 指導計画 | ・日記指導を通して、日常生活の語彙を獲得していく。また、基本的な文型を使えるようになる。・教科書やその他の読み物を読むことを通して、日常語彙や教科書語彙を増やしていく。・日本語の課題が教科理解の課題につながらないように、やさしい日本語に言い換えて教科の指導を行う。最終的に、教科内容を日本語で理解できることをめざす。 |

1. 教科・単元名　算数「１００より大きい数をしらべよう」
2. 目標(教　科)３位数の構成や各位の数についてまとめる。

　　(日本語)数をあらわす言葉「１００を何こ、１０を何こ、１を何こ」の意味を知り、使えるようになる。

1. 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 準備物・資料等 |
| 1. 絵本を読む。(５分)
2. 算数「100よりも大きい数を調べよう」(20分)

・前時のふりかえり・めあてを知る・百、十、一のくらいをそれぞれの表し方を考える。・自分なりの問題をミニホワイトボードに書く。・ペアトークで問題を出し合う。1. ふりかえり日記(10分)
 | ・教員がクイズのように問いかけながら読むことで、子どもたちの興味を引く。・教員が挿絵に注目させ、子どもたちのことばを引き出す。・数を百、十、一の位で分けると、簡単に表すことができることをふりかえる。(めあて)もんだいをつくって、クイズを出そう。・「○○を○こ」「あわせた数は○○です」という言葉で表現できることをおさえる。・助数詞に気をつける。・助詞に気をつける。・質問する時に、「○○を○こ」「あわせた数は○○です」の言葉を、順序よく話すことを確認する。・５Ｗ２Ｈの順序に沿って、書くことをおさえる。・書きたいことの中で、日本語が分からないものは、指導者の方から日本語で言い換える。 | ・絵本・ミニホワイトボード・ミニノート |